日本顔学会 関西支部 第5回研究会 開催のお知らせ

第5回 研究会テーマ

顔学研究の未来

2025年は日本顔学会が30周年を迎える記念すべき年です。本年3月には、「顔のデザイン〜顔って?誰の?どこへ?」と題して日本顔学会30周年記念イベントが開催され、「未来の顔」についてのコンペティションが開催されました。また来たる11月11日・12日(土・日)に早稲田大学で開催される第30回日本顔学会学術大会フォーラム顔学2025では、「顔学の新地平」というテーマで、これまでにない分野の創造を目指し、広い分野の研究が発表される予定です。そこで今年の関西支部の研究会は、フォーラム顔学2025につながる、さらに日本顔学会創立30周年にふさわしい研究会をという想いを込めて「顔学研究の未来」を皆様と一緒に議論したいと考えています。

開催概要

開催日時:2025年8月25日(月)

研究会:13 時 00 分~16 時 30 分 (開場:12 時 40 分ごろの予定)

懇親会:16時45分~18時ごろ

開催場所:大阪工業大学 常翔ホール

大阪市北区茶屋町1番45号 JR 大阪駅/大阪メトロ・阪急 梅田駅から徒歩 大阪工業大学梅田キャンパス OIT 梅田タワー 常翔ホール・セミナー室・会議室 ※懇親会も同じ建物の大阪工業大学内で行います。

参 加 費:会員・非会員:3,000 円 学生:1,000 円 懇親会費:会員・非会員:1,000 円 学生: 無料

※参加費および懇親会費は、当日会場にて徴収します。

参加申込:以下のサイトまたは QR コードから参加申込をお願いします。

参加申込締切日:8月22日(金)

https://forms.gle/wQxvvxSHKFkhWSgs7



連絡先 日本顔学会 関西支部 事務局 iface.kansai@gmail.com

実行委員

瀬尾 昌孝 大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 准教授

日本顔学会 関西支部 支部長

米澤 泉 甲南女子大学 人間科学部 教授 都賀 美有紀 関西学院大学 工学部 / 感性価値創造インスティテュート特任助教

中嶋 礼子 タカラベルモント株式会社 化粧品研究開発部 第一研究所 所長

南野 美紀 株式会社ベルヴィーヌ 取締役副社長

武庫川女子大学 薬学部 健康生命薬科学科 客員教授

関西学院大学 感性価値創造インスティテュート 客員教授 大阪樟蔭女子大学 客員教授 / 日本顔学会 関西支部 事務局長

総合司会: 関西支部 事務局長 南野美紀

	時間	講演内容	講演者
1	13:00	開会のご挨拶	日本顔学会 関西支部 支部長 大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 准教授 瀬尾 昌孝
2	13:05	会長挨拶	日本顔学会 会長東北大学大学院文学研究科教授 阿部恒之先生
3	13:10 (40分)	バーチャルヒューマン研究の未来予報図	第 30 回日本顔学会大会大会長早稲田大学 先進理工学部 教授 森島 繁生 先生
4	13:50 (40分)	スマホ時代の顔と化粧文化	甲南女子大学 人間科学部 教授 米澤 泉 先生
	14:30	休憩 (15分)	
5	14:45 (40分)	感性研究と顔学〜個人差に基づく価値創造〜	関西学院大学 工学部 特任助教 都賀 美有紀 先生
6	15:25	パネルディスカッション 『 顔学研究の未来 』 ファシリテーター: 瀬尾昌孝, 南野美紀	パネラー 森島 繁生 先生 米澤 泉 先生 都賀 美有紀 先生 阿部 恒之 先生
7	16:15	日本顔学会 フォーラム顔学 2025 の紹介	日本顔学会副会長 花王株式会社 今井健雄 氏
8	16:25	閉会のご挨拶	日本顔学会理事前会長 菅沼 薫 先生
		(建物内移動)	
9	16:45 18:00	懇親会	大阪工業大学 セミナー室 203(2F)

ご講演内容

バーチャルヒューマン研究の未来予報図 森島 繁生

人物 CG 合成に関して 38 年以上研究を継続してきた. AI 時代前夜の集大成として、愛・地球博で発表した"Future Cast Theater"は、164 万人の観客に感動をもたらした. その後 AI の急速な発展の時代を迎え、最近 5 年ほどで、見た目の完成度・研究スタイルも激変した. このような背景において、一枚画像からデジタルアバターを AI を活用して瞬時に自動生成する要素技術を開発してきた. 本講演では、特に人物そっくりのフォトリアル CG キャラクタ合成に焦点を当て、最近の急速な研究発展の様子を実際に動画を交えながら紹介し、時代の急速な変化を実感頂く.

スマホ時代の顔と化粧文化 米澤 泉

リアルメイクはコスメアプリに勝てるのか? 韓国 K ビューティーとジャパニーズ BONSAI ビューティーの違いは?なぜ顔を見せないアーティストを推せるのか? 未来の顔は主張しない「なじませメイク」?「スマホ」は私たちの顔や社会意識にどのような影響を与えたのでしょうか。個人よりも「分人」志向がすすむ「スマホ時代の顔と化粧文化」について、お話しします。

感性研究と顔学~個人差に基づく価値創造~ 都賀美有紀

感性を満たすモノやサービスは、私たちを幸せに導き、生活を豊かにします。本講演では、そうした感性価値の創出を目指して実施してきた「触感の良い拭き取り化粧水とは?」「心地よいクリームの使用感とは?それは顔と手のどちらで感じているのか?」といった顔の触感に関わる研究と感性の個人差をタイプ分類した研究を通して、顔学の新たな展開を考察します。